

■阿波銀行からドクターズカー寄贈

阿波銀行から創業110周年を記念し、徳島大学病院にドクターズカーが寄贈され、6月8日(木)に阿波銀行会長、頭取、専務、常務、徳島大学からは、学長、病院長、事務局長らが出席して、贈呈式が行われました。



ドクターズカーは、「スーパーエンジン」と命名され、徳島大学病院から地域の医療機関への医師の付き添いが必要な転院に利用されます。また、南海・東南海地震など災害発生時にも市町村から要請があれば活用します。

これにより、地域の医療機関との連携が強化されるばかりでなく、患者さんには「安全と安心」が提供できることとなります。

■徳島大学病院で中学生が職業体験学習

6月6日(火)から8日(木)の3日間、徳島市八万中学校の3年生10名(男5、女5)が職業体験学習のため、徳島大学病院を訪問しました。この取り組みは八万中学校が企画しているもので、県内の各企業等に生徒(3年生)が訪問し、将来の職業選択の参考とすることを目的としています。徳島大学病院では、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師などから実際の医療現場での説明、生徒同士がペアとなり歯石を取るなど

平成18年度文部科学省大学教育改革支援事業に全学部から6プロジェクト採択

文部科学省では大学教育の改革を推進するために平成15年度から、各種の教育改革支援事業に取り組んでいます。これは社会的ニーズが高いテーマについて、大学の優れた教育改革の取組を公募で選び予算を重点配分する、いわゆる競争的資金にシフトする方針を打ち出したものです。

平成18年度は12件申請したところ、その内6件が採択され、しかも全5学部からの申請が認められるという好結果を得ることができました。

平成18年度文部科学省大学教育改革支援事業採択状況

プロジェクト名	採択	申請
現代GP/地域活性化への貢献(地元型) 現代GP/持続可能な社会につながる環境教育の推進	27	123
大学教育の国際化推進プログラム/海外先進教育実践支援	14	76
「魅力ある大学院教育」イニシアティブ	31	90
医療人養成推進プログラム/臨床能力向上に向けた薬剤師の養成	11	55
「魅力ある大学院教育」イニシアティブ	11	60
経営セブンスを有するIT型技術者の協働育成	10	30



どの実習が実施され、また、最終日には患者さんに提供している給食を食べました。生徒たちは様々な角度から医療の一端に触れる3日間を過ごしました。

■日亜特別待遇奨学生採用証書授与式

工学部では、6月13日(火)に日亜特別待遇奨学生採用証書授与式を日亜ホールにおいて挙行了しました。日亜特別待遇奨学生制度は日亜化学工業株式会社から贈られた奨学寄付金を原資とし、学部生及び大学院生を対象とする返済の義務を課さない奨学金制度で、21世紀を担う人材育成を行うことを大きな目的としています。

入学試験の成績、研究業績等で選考された学部生13名、大学院生12名、計25名が工学部長から採用証書を授与され、採用生代表の化学応用工学科関口沙織さんが、謝辞を述べました。

この奨学生制度は平成17年度から実施されており、奨学生には進級時に学業成績等の審査を条件に、卒業(修了)までの間、毎月10万円が支給されます。また、同日午後には日亜成績優秀賞表彰式も挙行され、学科長から推薦された21名の前年度の成績優秀者が工学部長から優秀賞を授与され、奨



学金として20万円が支給されました。この成績優秀者制度も奨学生制度と同じ寄付金を原資とし、入学後の努力により優秀な成績を修めた学部生に対し、奨学金を贈ることににより勉強意欲を高めることを目的としています。

■第57回四国地区大学総合体育大会開催

第57回四国地区大学総合体育大会(四国インカレ)は、一部の競技を除いて6月30日(金)から7月2日(日)までの3日間の日程で、香川県を舞台に香川大学が当番大学となり、27大学・短大から約4,000名の学生が参加し、24競技に熱戦が繰り広げられました。あいにくの雨天のため4競技(硬式野球、準硬式野球、ソフトボール、ボート)については、残念ながら中止となりました。本学からは、22競技に453名(男子306名、女子87名)の学生が出場し、競技別では、優勝がヨット(男子)・水泳競技(女子)、第2位が水泳競技(男子)、



第3位が硬式庭球(男子)と好成绩を残しました。本学の総合成績は、男子が第5位(昨年第5位)、女子が第7位(昨年第5位)と健闘しました。

優勝	第2位	第3位
男子競技 松山大学	愛媛大学	高知大学
女子競技 松山大学	愛媛大学	香川大学

■「徳島地域連携協議会」開催

平成18年度第一回徳島地域連携協議会を8月1日(火)に徳島大学地域・国際交流プラザ(日亜会館)で開催しました。本協議会は、徳島県、県教育委員会、県市長会、県町村会及び徳島大学が連携・協力し、連携事業の企画・調整を行い、地域貢献に資する目的で設置されたもので、今回で5回目の開催となります。会議では、黒田会長(徳島大学副

学長の進行により、今年度の共催事業計画及び県・市町村と大学の連携・要望事項について審議され、事業計画では、「ケーブルテレビとインターネット」をテーマとした勝浦町でのタウンミーティング開催や「裁判員制度」をテーマとしたシンポジウムの開催が承認されました。また、県・市町村と大学の連携・要望事項では、大学が5月に自治体と大学に対して実施した二一調査の結果、要望書の提出があった41件について意見交換が行われ、今後、連携に向けて協議を開始し、可能なものから推進していくことが了承されました。



■オープンキャンパス 学部説明会を開催

高校生を対象に、8月3日(木)・4日(金)の両日、大学の公開、情報提供を目的としたオープンキャンパスを開催し、県内外の高校生、保護者及び高校教員等を合わせて2,278人の参加がありました。各学部では、学部・学科紹介、入学

試験案内、施設見学をはじめとして、体験入学、大学院生等との懇談会、研究内容紹介など、多彩な内容を準備し、本学のPRに取り組みました。また、8月3日(木)には、午前には医学部保健学科看護学専攻が看護体験を、午後には工学部が「工学体験大学講座」を実施しました。



■第10回科学体験フェスティバル in 徳島

徳島大学工学部は、(株)阿波銀行、四国電力(株)徳島支店との共催により、徳島県教育委員会、徳島市教育委員会等の後援、大塚化学(株)、日亜化学工業(株)の協賛を得て、8月5日(土)、6日(日)の両日、「第10回科学体験フェスティバル in 徳島」を同学部構内で開催しました。同フェスティバルは、「青少年の科学する心の育成と科学に対する関心を高め、地域社会の科学技術の振興に貢献する。」という目的のもと、今回も「さわってつくって、楽しい科学」をコンセプトに、同学部の各研究室をはじめ県内の小・中・高校各教育研究会理科部(学)会や、(株)NITTD、「四国、四国化工機(株)タタノ、日亜化学工業(株)」といった県内外の企業等から出展された46のブースとともに、小・中学生図画コンクール入賞作品展も開催しました。



今年の特別企画の「スペースワールド」では、「宇宙服に触れてみよう」、「ムーンウォーク」、「太陽系惑星を取り返せ」、「ワールドツアー」などに子ども達は、大歓声を上げていました。また、今回は、第10回の記念イベントとして、宇宙航空研究開発機構から山方健士開発員を講師として招いた。記念特別講演会「宇宙服のなで」を開催しました。講演会は、徳島県立城ノ内中学校の生徒をはじめとして百名近い聴衆があり、宇宙服に関する講演を熱心に聴き入っていました。

ジョグジャカルタ地震義援金へのお礼

歯学部留学中のインタンさんより、平成18年5月のインドネシア大地震への徳島大学の支援に対するお礼が届いておりますので紹介します。

広報編集委員長

Thanks for Yogyakarta earthquake donation

Here, we would like to express our thanks to professors, staffs and students of Tokushima University and the community of Tokushima Prefecture for the Yogyakarta earthquake donation.

This is of course a significant generous contribution that is invaluable for us and helps us to solve some problems related the Yogyakarta earthquake. The donations will partly be allocated to the rehabilitation of the badly damaged buildings of the Faculty of Dentistry, Gajahmada University, and for the survivors of the Yogyakarta earthquake.

On behalf of the Indonesian people in general, and particularly of the Faculty of Dentistry, Gajahmada University as well as the survivors of the Yogyakarta earthquake, we would like to extend our heartfelt gratitude to all of you who provided us such a great help. We really appreciate it as well as the sincere condolence. Thank you very much.



Intan Ruspita  
Indonesian Student Association